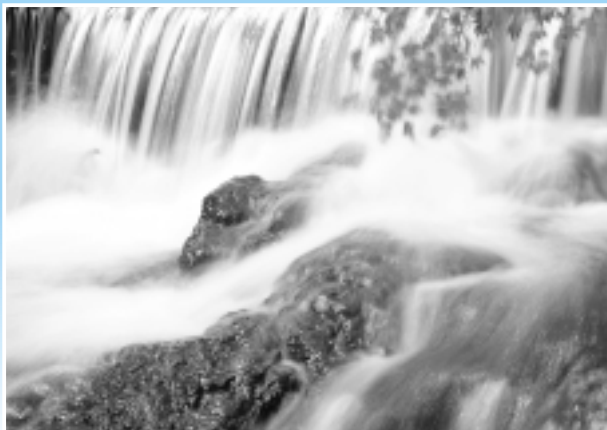


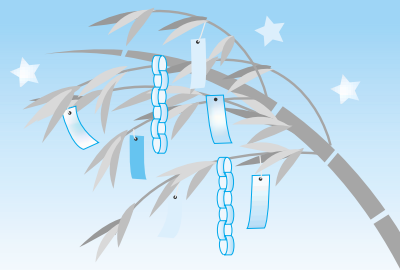
# INTER KYOTO

インターキョウト



2006.7.7 No.30

社団法人京都府情報産業協会  
発行：広報委員会



## 会長直言

(社) 京都府情報産業協会 会長 長谷川 亘

このたび、社団法人京都府情報産業協会会長に就任いたしました京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院の長谷川亘でございます。就任のご挨拶を兼ねて、今後の抱負を述べさせていただきます。

高度情報化時代の到来で、情報技術産業が諸分野でますます大きな役割を果たすことが期待されています。同時に、私たちに課せられた責任の重さをひしひしと感じています。情報技術の進歩は、単なる情報の流れだけでなく、商品の流通、人や知識の交流までも地球規模のネットワークに包み込み、さまざまな新しい産業や技術を生み出すなど21世紀社会の創造を一段と活気づけていきます。その一方で、21世紀は、環境問題など前世紀から宿題として残された多くの課題の早期解決も求められています。これらの課題解決には、私たち情報技術業界が先頭に立って取り組む必要があると思います。私たちは、豊かで安心できる生活の実現に貢献するという大きな期待を背負っているからです。

京都府情報産業協会は、長い歴史に培われた日本文化の中心、革新の気運に満ちた学術の街、京都という極めて恵まれた環境において、大いなる発展の可能性を有しています。本協会の活動においては、まずは会員企業各位の発展を第一に念頭におき、より魅力ある協会を目指したいと考えております。会員企業の事業の発展が、日本有数のITの街である京都の華々しい未来につながることを確信しています。

昨今、情報産業業界を取り巻く環境はブロードバンドの普及によるユビキタス社会の到来、流通革命の進展などにより大き

く変化しています。一方、システム開発の首都圏集中やセキュリティ面を中心とした経営品質・革新対策、人材確保・育成など課題も山積しています。そのような中、本協会は各種活動、事業などを通じて会員相互で研鑽し合いながら、一層の業界発展と地域への貢献を成し遂げていかなければなりません。

そこで、本協会のさらなる発展のため、今後は若い人たちの協会活動への参加の機会を数多く設けたいと存じます。それにより、今まで以上に協会の活動に活気生まれることでしょう。また、協会運営を会費のみに頼るのではなく、収益事業なども適宜実施することも検討していきたく存じます。

会員の皆様には、お忙しい中ご参集いただくので、「京情協は、興味深く、楽しく」なければならないと思っております。興味深いという意味と楽しいという意味を兼ねて、「おもしろおすえ、京情協」と私たちが思い、周りからもそう言われるような協会を目指したく存じます。

私は学校法人を20年間、経営してまいりました。同じく公益法人である教育機関経営の経験を、本協会の運営においても活かせれば幸いです。しかしそれ以上に、協会の円滑な運営には、会員の皆様のご協力が不可欠であることは言うまでもありません。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 通常総会 開催報告 平成17年度 第2回通常総会 (3月28日)

# 協会設立6年目の飛躍、新体制で出帆!

平成17年度第2回通常総会が、3月28日(火)平安会館において開催されました。平成18年度事業計画案ならびに予算案等が審議・了承された後、理事、幹事の任期満了に伴う新たな役員選任が行われました。引き続き開催された理事会において、長谷川巨新会長が選ばれ、京情協は新体制のもとで出帆することになりました。

総会後の会員交流懇親会では、今後の協会活動や事業方針などについて活発な意見交換が行われました。



植田前会長

### 平成18年度 活動基本方針

協会が設立して5年が経過し、設立理念である「地域社会への貢献」に寄与できる組織運営が定着してきました。今後も、会員が保有するITに関するノウハウ、人材を地域産業や府民生活の発展に寄与するために役立てていきたいと考えています。また、関連諸団体・機関との連携強化、研究調査事業による啓蒙活動などを通じて、当協会の知名度の向上を図りながら、更に広く活動に賛同していただける団体・機関・企業との連携を意欲的に構築していきます。



### 平成18年度新体制 (敬称略)

は新任

会 長(理事)	長谷川 巨	京都コンピュータ学院
副会長(理事)	北山 寛巳	けいしんシステムリサーチ(株)
	畑山 正雄	(株)京信システムサービス
	古川 峰生	(株)総合システムサービス
理 事	植田 弘毅	京都電子計算(株)
	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
	田中 正道	シーク電子工業(株)
	中村 徹	竹菱電機(株)
	松本 慎吾	島津エス・ディー(株)
	監 事	池田 達夫
	井上太市郎	スリーエース(株)
名誉会長	白石 雪翁	京都電子計算(株)
顧 問	田中 義則	日本コンピュータファシリティ(株)
事業推進委員長	駒井 一正	京都電子計算(株)
広報委員長	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
経営委員長	小島耕一郎	(株)近畿リサーチセンター
技術委員長	山本 孝	島津エス・ディー(株)
地域情報化委員長	古川 峰生	(株)総合システムサービス
事務局 長	和田 壽郎	京都コンピュータ学院
事務局 員	奥村 良三	

## 府民セミナー

### 改正 高年齢者雇用安定法を学ぶ

#### 第1部 改正 高年齢者雇用安定法について

京都労働局 職業安定部職業対策課  
高年齢者対策担当(併)雇用対策係長 田名後 茂氏

少子高齢化の急速な進行により、今後、労働力人口の減少が見込まれていく中で、高齢者の能力の有効な活用を図ることが重要です。こうした社会背景を受けて、平成18年4月1日「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正が行われました。これにより、定年(65歳未満)制度を実施している事業主は、65歳までの定年の引き上げ、継続雇用制度の導入、定年の定め廃止のいずれかの



## 通常総会 開催報告 平成18年度 第1回通常総会 (5月31日)

## 1年間の取り組みを振り返って～活動成果の報告～

平成18年度第1回通常総会が、5月31日(水)平安会館において開催されました。平成17年度の事業報告・決算報告について、駒井一正事業推進委員長ならびに事務局が説明を行い、いずれも滞りなく承認されました。

総会に引き続いて「府民セミナー」を開催。『改正 高年齢者雇用安定法を学ぶ』をテーマに2人の専門家を迎えて、これからの企業経営に経験豊かな高齢者をどのように生かしていくかなどのポイントを伺いました。



## 平成17年度 事業報告 (概要)

「情報関連技術の普及およびその利活用に関する諸事業を行うことにより、地域社会の情報化を促進し、もって府民生活の向上に寄与すること」という目的に従い、めざましい発展を遂げるITへの対応を事業活動のテーマとしたさまざまな課題に取り組んできました。

関連諸団体や機関との連携強化による知名度の向上については、京都府・市・京都商工会議所を中心としたオール京都体制で開催された「ケータイ国際フォーラム」に参画。8社の会員が出展し、京情協の事業目的の達成に大きく貢献しました。

京情協の会員の経営体質を充実するために、経営委員会が中心となり、経営研究会や情報交換広場を開催。また、技術委員会は、3つのテーマ(品質、情報セキュリティ、新技術利用と開発効率)によるSE研究会を実施するなど、充実した活動を展開しています。

そのほか、時機を得たテーマを取り上げた「オープンセミナー」など京都府民に向けた最先端のIT紹介・啓蒙活動、地域産業の課題解決に向けた取り組みなども積極的に進めてきました。なお、各委員会ならびに各担当者の尽力により、協会の合理的運営が行われ、大幅な経費節減が実現できたことを報告します。



長谷川新会長



措置を講じる義務を負うようになります。高齢者の雇用延長や再雇用を積極的に進めることで、経験豊かなベテランの活力を引き出し、企業活性化の切り札となることを期待しています。

## 第2部 高齢者を活かす人事・賃金制度構築のポイント

(株)新経営サービス 人事戦略研究所コンサルタント 小林 由香氏



継続雇用制度を導入する場合、原則として希望者全員を対象としなければなりません。しかし、継続雇用の対象となる労働者に関する「基準」を定めることによって、その対象者を「絞る」ことが可能です。ポイントとなるのは、高齢者の意欲・能力等を

具体的なかつ客観的に測定できる基準を作ること。会社が恣意的に継続雇用を排除するものであってはいけません。また、雇用延長後の賃金決定ですが、対象者ごとの「個別決定」か、



全員同じ「統一ルール」なのかを明確にすること。モチベーションの低下を防ぐためにも、インセンティブ制度(賞与、報奨金など)の導入なども検討すべきでしょう。





## 委員長より

## 平成18年度活動方針

事業推進委員会  
駒井 一正 委員長



当協会は法人化になって6年目を迎えました。他府県の情報産業協会に比べると、まだまだ歴史の浅い団体です。それでも昨今、行政側からは「パートナーとして」情報社会の進展に対応した府民サービスが、共に推進できるような期待が高まっています。情報社会はますます高度化・複雑化・多様化しており、府民サービスの焦点を何処に当てるのかで活動は大きく変わってきます。この期待にどこまで応えられるかわかりませんが、会員企業の皆様の協力によって大きな力を発揮することができるものと考えます。当協会は今年度から新しい体制でスタートして、変革の時代に入ったと言えます。このような時に事業推進委員長を仰せつかって、責任の重大さを思う時、正に身の引き締まる思いです。何事にも「明るく、楽しく、そして厳しく」をモットーに推進していきたいと思っています。皆様の大きなご支援を得て少しでもお役に立てればと願うばかりです。どうぞご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

技術委員会  
山本 孝 委員長



平成18年度の技術委員会の事業活動として、経済産業省の情報化月間に協賛したオープンセミナー（10月）と、目新しい情報技術に視点を向けたオープン技術セミナー（2月）を開催する計画です。また、SE交流会として平成17年度の成果をもとに、更に奥深い探求と課題解決の場となるような「SE研究会・キックオフセミナー」を含めた「品質問題」「情報セキュリティ問題」「開発効率問題&新技術利用」をテーマとした4つの研究会とその成果発表会を開催し、有意義な研究会とSE相互の情報交換の場にしていきたいです。

更に、今年度からの新しい取り組みとして、情報産業に携わっておられる会員各位がどのような技術指向であるかをITディレクトリに反映させるための「情報技術マップ作成に関する調査」を実施。会員各位の位置付けを情報技術マップに展開した結果を公開するとともに、順次、来年度以降の技術委員会事業の取り組みに反映させていくことで、活性化も含めた会員志向の技術委員会にしたいと考えています。

経営委員会  
小島 耕一郎 委員長



当委員会の18年度の基本方針は、昨年と同様、会員各社と府民の皆様のお役に立つよう、啓蒙活動 行政との連携 会員サービスの3点を柱に活動してまいります。

具体的な活動として、今年4月1日に施行された改正高齢者雇用安定法について、行政当局の京都労働局と、同分野に精通されているコンサルタントを招き、企業はこの法律にどう対応すべきかについて府民参加型のセミナーを計画しています。 京都府中小企業技術センターと4半期ごとに府内の情報産業の景気実態の状況や、他産業の状況について情報交換、話し合ってもらいます。 会員各社の経営者や管理責任者が、日頃悩んだり、困ったりしていることを共通のテーマとして、情報交換や識者を招いて勉強するための「情報交換広場」と「経営研究会」を開催いたします。

（情報交換広場8月・2月、経営研究会6月・7月・9月・11月）

地域情報化委員会  
古川 峰生 委員長



当委員会の役割は、本協会の設立理念である「地域社会への貢献」そのもので、一委員が担うにはあまりにも重い課題です。その辺の事情から活動計画は総花的で、年度総括時点では反省の弁が継続しました。本年度は目的を限定し、 京都試作事業のソフト関連の受け皿の集約を担う 地上デジタル放送の公共アプリケーションパイロット事業に関わり、会員への幅広い広報を担う 昨年度実施した他府県情報産業団体の調査で指摘した検討事項を議論し、事業推進委員会へ提言する 新年賀詞交歓の新春セミナーを担当する、の4点を中心に取り組んでまいります。当委員会はまだ活動の領域が流動的です。「我こそは……」という意気込みある方の入会を心からお待ちしております。

広報委員会  
河合 康博 委員長



本年度の重点方針は、会報誌『インターキョウト』の充実に加え、京情協Webサイトの効率アップおよびよりきめ細かい活動を行うための広報委員の拡充です。現在、中島副委員長以下、伏見、荻野、廣瀬、横山、湯下各委員に、田中、釘宮両氏の加入によって9名体制になりました。それぞれ各委員会の担当、会員企業紹介の担当、事業担当等を決め、会員企業からの情報収集や各委員会との連携強化による情報の発信を行います。広報委員会として事務局とも連携し「京情協」および会員企業の皆様に貢献できるよう活動いたします。

## 第1回経営研究会 開催報告

日 時：6月15日（木）15:00～17:50  
会 場：京都コンピュータ学院西館4階会議室  
テーマ：「IT業界の経営指標・税務対応について」  
講 師：杉田德行氏（杉田公認会計士・税理士事務所）  
参加者：15社21名

今年度、最初の経営研究会は、かねてから関心の高かった「IT業界」に的を絞った経営指標について、公認会計士の杉田德行氏を講師にお招きし、セミナーを行いました。出席者からの積極的な質問に加え、最後にはキャッシュフロー計算書の演習問題があり、予定時間を1時間近くもオーバーするほど熱の入ったものとなりました。今回の成果をベースに、次回7月20日(木)の研究会では会員各社の課題等、より具体的に進めていく予定です。



# 「ANIAぎふ大会」報告

事務局長 和田壽郎

第28回全情連大会「ANIAぎふ大会」が、岐阜都ホテルをメイン会場に、6月21日（水）～23日（金）の3日間にわたり開催された。「先進は真ん中“ぎふ”からはじまる」を大会テーマとして、全国より約400名の情報産業団体関係者が一同に会した。（社）京都府情報産業協会からは4社10名が参加した。

## 1日目 6月21日（水）前夜祭

午後6時から前夜祭が開催された。岐阜県情報産業協会横山鐵三副会長の歓迎のご挨拶と乾杯で始まり、和気藹々とした和やかな雰囲気の中、お互いに生の情報交換を行うなど大会前日に相応しい交流の場となった。

## 2日目 6月22日（木）総会・大会式典・懇親パーティー

午前中、平成18年度ANIA通常総会が開催された。地元岐阜県選出の参議院議員・松田岩夫情報通信技術（IT）担当大臣がご来賓としてご臨席され、2010年を達成目標とする国のIT新改革戦略について熱のこもった講話を承った（写真1）。

午後の大会式典では、全国各地情報産業団体連合会（ANIA）の辻正会長夫妻御一同による能楽仕舞「羽衣」のご披露があり厳かにオープニ



写真1



写真2



写真3

ングを飾った（写真2）。（社）岐阜県情報産業協会長の宮地正直氏およびANIA会長の辻正氏からそれぞれ歓迎の挨拶があり（写真3）引き続き来賓挨拶では、岐阜県知事の古田肇氏、経済産業省大臣官房審議官の西川泰蔵氏、総務省情報通信政策局長の竹田義行氏からご祝辞をいただいた。

基調講演では、内閣官房内閣審議官・総務省情報通信政策局長の竹田義行氏が『ITによる構造改革～IT新改革戦略と重点計画 2006～』をテーマに講演した。2001年1月、内閣にIT戦略本部が設置されたが、過去5年間にわたる「e-Japan戦略」の成果や、それをもとに本年新たに策定された「重点計画 2006」の骨子とIT新戦略「u-Japan政策」などについてわかりやすく解説した。情報産業に携わる本大会の参加者にとっては、極めて関心を惹くテーマであり熱心に聴き入っていた。

講演は、NHKのエグゼクティブ・アナウンサー松平定知氏が「私の取材ノート・『そのとき歴史が動いた』の現場から」と題して行った。流石に人気番組のご本人による生の講演だけあり、歴史の裏側など泉のように湧き出る豊富な話題で聴衆を魅了した。現在放送中のNHK大河ドラマ『功名が辻』とも話題が重なり興味津々のうちに終了した（写真4）。

写真4

午後6時より懇親パーティーに移った。（社）岐阜県情報産業協会副会長の孫工昇嗣氏が開宴の挨拶を行い、ご来賓挨拶では、中部経済産業局長の佐藤樹一郎氏、東海総合



写真5

通信局長の鈴木薫氏、岐阜市長細江茂光氏から祝辞が述べられた。着座円卓での中華料理で、それぞれに円卓のメンバーで名刺交換し歓談した。また余興として（社）岐阜県情報産業協会会長のサックス・横山副会長のボンゴなどの総勢8人によるバンド演奏があり、より一層和やかな雰囲気を醸成した（写真5）。宴もたけなわとなった頃、次回開催県の（社）千葉県情報サービス産業協会鹿島哲博会長以下役職員が紹介され、千葉大会への参加を呼びかける挨拶が行われた。最後は、（社）岐阜県情報産業協会足立育雄副会長の挨拶で閉会した。

## 3日目 6月23日（金）世界文化遺産「白川郷」観光・ゴルフ大会

大会最終日のエクスカージョンは観光組とゴルフ組に分かれ実施されたが、京情協のメンバーは観光組に加わった。バスに乗り込んで世界遺産「合掌集落白川郷」をめざして出発した。週間天気予報では雨の予報であったが、時間が経つにつれ徐々に回復し、白川郷に着く頃には日差しは強くなり、まるで梅雨明けしたかのようであった。



写真6

まず展望台からの素晴らしい合掌集落全景をバックに記念写真を撮影した（写真6）。昼食は合掌造りの白水園で本場飛騨牛の石焼とそばに舌鼓を打ち、英気を養った。昼食後約1時間半ほどの自由な散策の時間が取られ、数人のグループに分かれ三々五々集落案内図をもとに見学して回った。集落の散策を満喫して午後1時15分に帰路に着いた。午後4時、無事名古屋駅に到着し散会した。

以上、3日間にわたる第28回全情連大会「ANIAぎふ大会」が盛会裏に幕を閉じた。各府県の団体との情報交換、基調講演、講演、エクスカージョンとも大変意義深く内容の濃いものであった。

（社）岐阜県情報産業協会の皆様には周到なご準備と温かいおもてなしをいただき、心から厚く御礼申し上げる次第です。

そして、今回ご参加いただきました京情協の皆様には、他県との交流を通じ本協会のPRにご尽力いただき誠にありがとうございました。誌面を借りて深く感謝申し上げます。

### 京情協からの参加者は次の通り（順不同）

長谷川亘会長  
古川峰生副会長  
植田弘毅理事  
駒井一正事業推進委員長  
中川敦経営委員会副委員長  
和田壽郎事務局長

京都情報大学院大学

・京都コンピュータ学院より

太田 賢総務部人事室長 出村 良子統括本部秘書室長  
小寺 敦子統括本部企画室長 奥泉 洋子統括本部秘書



## 協会だより

正会員 58社  
特別会員 1名  
賛助会員 7社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により  
成果を得ることができました。  
会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力ください。

### 京情協主催 集客力を高めるための SEOセミナー開催決定

SEOとは、「検索エンジン最適化」と呼ばれるホームページでの集客手法の一つです。

本セミナーでは、SEOに必要なHTMLの基礎知識から、実践的なテクニックまで一連の流れでご紹介します。大手企業に見る事例などを参考に、効果的なSEOの実践をサポートする内容を予定しています。奮ってご参加ください。

日 時：8月24日（木）16:00～18:00

会 場：京都コンピュータ学院 京都駅前校 新館4階会議室

対 象：京情協会員企業 参加費：無料 定員：40名

問合せ：(社)京都府情報産業協会 事務局 TEL：075-693-6089

### 京都電子計算(株) 東京支店を開設

平成18年6月1日、京情協の会員である京都電子計算(株)が、東京支店を開設されました。

住所：東京都大田区蒲田4-21-14 明治安田生命蒲田ビル7階

TEL：03-5711-3200（代） FAX：03-5711-3265

### Coffee break

～ミニ・ホエム～



現場

「現場」では、  
一番、がんばっているヤツが、  
一番、汗を流しているヤツが偉い。  
だから、その誰かをたててやらなきゃいけない。  
これが基本。

恋の「現場」では、  
自分の好きなひとをたてなきゃだめだし、  
家庭の「現場」では、嫁さんをたてなきゃ。

By ジョナサン

### 新会員の紹介

平成18年4月1日入会

会社名：(株)アイエスエフネット

代表者：渡邊 幸義

所在地：京都市下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町

電 話：075-353-9581

U R L：http://www.isfnet.co.jp/

会社名：アイ・ティ・エス(株)

代表者：多田 隆昭

所在地：京都市下京区高辻通室町西入ル繁昌町

京都1号館6階

電 話：075-353-6815

U R L：http://www.itsinc.jp/

会社名：インフォニック(株)

代表者：菊地 宏

所在地：京都市下京区綾小路通新町東入ル善長寺町

マズギビル5階

電 話：075-351-0014

U R L：http://www.infonic.co.jp/

### お知らせ

#### 第2回経営研究会

日 時：7月20日（木）

場 所：京都コンピュータ学院 西館 4階会議室

テーマ：「IT業界の経営指標・税務対応について」その

講 師：杉田 德行氏（杉田公認会計士・税理士事務所）

#### 第1回情報交換広場

日 時：8月17日（木）

場 所：ばるるプラザ京都

テーマ：「外注管理について」

#### グリーンサミット

日 時：9月2日（土）

場 所：信楽カントリー倶楽部

その他の詳細は未定

#### SE研究会キックオフ・セミナー&懇談会

日 時：9月7日（木）

場 所：平安会館

テーマ：「ケースで見る上級SEの仕事術とは...」

講 師：竹嶋 徳明氏（大阪国際大学 講師）

### 京情協 事務局長就任のご挨拶

和田 壽郎

この度、理事会の承認を得て、事務局長に就任した和田壽郎でございます。本協会は、本年設立6年目を迎えました。このような節目に大役を仰せつかり、大いに責任を感じております。昨年1年間は事務局長補佐としての経験がありますが、力量不足のため、事務局長としての職責を果たせるかどうかまったく自信がありません。



しかしお受けしたからには、微力ながら全力を尽くしてまいります。本協会の設立当初からの沿革や事業について十分に把握するとともに、会員企業の皆様とのコミュニケーションをより一層深めていくことが大事であると痛感しております。

私は、元来、人と接することが苦にならない性格ですので、組織の潤滑油としての役目も果しつつ、魅力ある楽しい京情協の運営に寄与できれば幸いです。趣味は下手なゴルフと音楽です。音楽は学生時代（40年前）にマンドリンクラブのコンサートマスターを経験したことから、聴くだけでなく少々合奏など楽しむこともOKです。

何分、浅学菲才の身であり、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思います。どうか皆様の温かいご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 編集 後記

当協会も設立後5年を経て、このたび新体制がスタートしました。私ども広報委員会においても新メンバーが加入しました。巻頭の「会長直言」にもあるとおり、「おもしろおすえ、京情協」のキャッチコピーを現実のものとするため、より充実した広報誌を目指してまいります。皆様方のご支援、ご協力をお願いします。（広報委員）

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp>